

## 三浦雄一郎チョモランマ 2008 年遠征隊 登攀ルートをネパール側へ変更

75 歳の世界最高年齢登頂記録の更新を目指して、今春、中国側よりチョモランマ(エベレスト・中国名)の登山を予定しておりました三浦雄一郎(75 歳)と次男の豪太(38 歳)ですが、3 月中旬に中国・チベット自治区で起きた騒乱の影響により、チョモランマ・ベースキャンプがあるチベットへの入域が規制され、当初の予定でありました 4 月 5 日の遠征隊の中国への移動が叶いませんでした。現在も 三浦隊を含む外国登山隊の全てが今春のチョモランマ登山に関して、いつ入域の規制が解除されるか状況は不明です。

世界最高峰、標高 8848 メートルのチョモランマ登山には、高所順応と上部キャンプへ物資の移動を行う為に 十分な時間が必要となります。またこの時期(5 月まで)のヒマラヤ 8000 メートルの超高所では風速 40 メートルを 越すジェットストリームが吹き荒れ、さらに毎年 5 月下旬を過ぎるとモンスーン(雨季)シーズン入りをするという気象状況により、5 月の限られた時期がもっとも登頂の可能性が高く、それ以外は大変厳しい条件となります。

4 月下旬までにベースキャンプを設営する必要があり、三浦隊はチベットへの入域が確定しない場合は、チョモランマのネパール側(エベレスト)のルートからの登攀を検討してまいりましたが、昨日(4 月 6 日)ネパール政府へ登山申請を提出いたしました。

三浦雄一郎は 2003 年、当時 70 歳と 7 ヶ月で世界最高年齢でエベレストを登頂後、不整脈に悩まされ 2 度に 及ぶ心臓カテーテル手術を行い、そして 4 度のヒマラヤ遠征とトレーニングを経て今年の挑戦に全てターゲットを絞って調整してまいりました。先月 3 月 20 日に日本出発後、ネパール側での第 1 回目の高度順応で 5000 メートル地点まで登り、現時点で過去 4 年間のなかで最もコンディションがいい状態にあります。今年はネパール側も、中国の聖火登山隊が登頂するまでエベレスト登山の規制がかかり、またチベット側から予定していた登山隊の 多くが、三浦隊同様にルート変更を行う為、かなりの混雑が予想され、例年より条件が厳しくはなりますが、「登るためにきたから登りたい」、という三浦雄一郎の強い気持ちで、チベット側からの登山が計画通りにならない現在、ルートをネパール側(2003 年三浦が登攀に成功した同じルート)に変更して最後まで諦めずに遠征を続け世界最高峰を目指します。

三浦隊は 4 月 10 日に予定されているネパール総選挙の前、4 月 8 日にカトマンズから標高 2800 メートルのルクラへ入り、そこから 13 日かけて 60 キロにわたるキャラバンを行い、4 月 21 日に標高 5300 メートルのエベレスト・ベースキャンプに入ります。現在、5 月 10 日までエベレスト側は C2(高所キャンプ 2・6400 メートル)以上の登攀が禁止されている為、今回の高所順応登山は C2 までとし、5 月 10 日以降、気象予報をみながら山頂へのアタックを行う予定です。

今回のチョモランマ遠征にあたり駐日中国大使館をはじめ、多くの方々にご尽力をいただき、深く御礼申し上げます。そして 1 日も早くチベット情勢が落ち着き、中国に平和が訪れますこと、心より願っております。

ミウラ・ドルフィンズ 三浦恵美里

三浦隊が今回の決断にいたった流れにつきましては、下記 HP の豪太日記 4 月 3 日をご参照ください:

[www.gomolangma2008-kddi.com](http://www.gomolangma2008-kddi.com)